

## 令和7年度第2回介護・医療連携推進会議議事録

場 所：医療法人久生会 山本クリニック 1階会議室

開催日時：令和8年3月19日（木）14:00～15:00

### 1. 挨拶

お忙しい所、ご出席して頂きありがとうございます。

① 挨拶・・・定期巡回随時対応型訪問介護看護 管理者 山下 美有紀

② 出席者自己紹介（別紙資料1参照）

### 2. 議事内容

#### ① 定期巡回サービス提供等状況報告について

令和7年9月から令和8年2月までのサービス提供状況ですが、現在利用者数は40名となっています。地域提供は3名です。合計43名の利用者となっています。訪問回数は2月定期日中977回 夜間2080回 計3057回 随時日中129回 夜間198回 計327回となっています。一日あたり定期訪問回数は2.5回です。

11月21日から残業を減らすということで、勤務体制の見直しにより、パット交換や巡視の際に電気が点くと起きてしまいそのまま眠れない利用者様がいるため、必要な定期巡回のサービスになるよう変更しました。その結果 定期巡回の回数が2月現在では減少しています。

現代、介護1の方が15名、介護2が13名、介護3が4名、介護4が9名介護5が0名で平均介護度が2.17となっています。

地域提供の状況、3月現代は、介護度1・1月9日から退院され、利用開始になりました。

・介護度4の方が3月1日に退院後、新規で地域提供を開始。

・介護度4の方が3月4日に退院され利用開始になりました。

以上より計3名の利用となっています。

現代の定期巡回職員体制について、常勤（11名） 非常勤（1名）介護福祉士（11名）ヘルパー2級（1名）

連携先訪問介護

訪問介護ステーション 紀三井寺苑様（1件）

訪問介護ステーション はやしもと様（0件）

訪問介護ステーション CH和歌山様（1件）

となっています。

#### ②定期巡回 自己評価・外部評価について（別紙資料参照）

定期巡回サービスの外部評価の質問に答える。

・6番の人材が不足している様に、感じられる点について。

回答：地域訪問にスタッフが出ることで、住宅内のスタッフが少なくなる為、サービスの振り分けに工夫して配置を行っています。

・8番のどうしてもできないことが多いになったのですか？

回答：新しくポータルソフトを導入したため、家族様への連絡や使用方法の説明等について共有

が十分でない部分があります。今後、早期に理解を深め、情報共有を図っていきたいと考えています。

・10番の自己評価の内容では「できている」が良いと思いますが前回より下がった理由を教えてください。

回答：契約手続き等を主に管理者や主任が行っており、他スタッフの関わりが少なかったため、このような結果になったと考えています。

・12番のできていない理由と改善方法について教えてください。

答え：ミーティングやポータルでの記録共有は行っていますが、今後は他スタッフもカンファレンスや担当者会議に参加する機会を増やし、連携強化を図っていきます。

・13番の心身機能の維持・回復に向けて意識されていることはありますか。

答え：ご本人ができることや残存機能を活かし、生活の質の向上につながるよう支援しています。

・16番のケアマネジャーとはどのように共有されていますか。

答え：ポータルソフトを通じて情報共有を行っています。

・20番出来ているとしない理由を教えてください。

回答：家族様への説明等は主に管理者や主任が行っていた為、今後は計画書作成をスタッフで分担し、担当者が説明できる体制を強化していきます。

・21番出来ているとしない理由を教えてください。

回答：管理者や主任が中心となっているため、今後はスタッフにもより関わってもらうよう体制を見直していきます。

・22番出来ていないことが多いとなっている理由を教えてください。

回答：ポータルソフトへ移行して間もないため、報告の共有が十分に行えていない部分があります。今後は運用を安定させ、情報共有の徹底を図っていきます。

・31番つどいの郷の入居者が殆どと把握しています。地域への展開はされていない。

回答：地域への展開に向けた営業活動は実施しておりますが、人材不足の影響により、十分な展開が難しい状況にあります。なお、来月より非常勤スタッフの配置を予定しております。

11月21日以降、ソフトの変更や体制の見直しなど、改善に取り組んでいるところではございますが、一部において評価が低い点も見受けられます。

今後は現状の取り組みを踏まえながら、サービスの質の維持および向上に努めてまいります。

### ③ 事例報告（別紙資料参照）

#### 地域提供

・利用者様は女性86歳 要介護1 一人暮らしで、自宅には、セコムを設置されています。サービス内容が毎日3回安否確認・健康チェック・服薬確認 必要時に掃除・洗濯・入浴・声掛け・見守り・緊急時対応を随時対応で行っています。

R7年2月に転倒され、第12胸椎骨折、海南医療センターへの入院、安静治療で3月末にリハビリ目的で野上厚生病院へ転院5月に退院し、退院後より利用開始、入院前から服薬が出来ていない事、お茶を入れるのに時間がかかるなどもあり、認知症の症状があり、入院中に認知症の服薬も開始されました。

自宅には家族様によりモニターカメラが設置されている。定期巡回利用開始時は、毎食後1日3回の訪問による服薬確認を行う予定であったが、薬の準備場所をテーブルの上の所定位置に決定したことで、本人の服薬自立がみられたため、訪問は1日1回となり、電話連絡による服

薬確認を支援していた。

その後、約7か月後に自宅内で転倒し、股関節周囲骨折にて入院となった。本人の希望もあり、在宅復帰が可能となり退院された。本人の希望もあり、在宅復帰が可能となり退院された。退院後は、家の中で杖を忘れることがあったため、リビングやダイニングなど各所に杖を設置し、転倒防止の支援を行っている。「気をつけなあかんのよ」と話されており、在宅はバリアフリーであることもあり、室内での杖なし歩行も安定している様子が見られている。

退院前は定期訪問1日1回であったが、退院後は1日3回の定期訪問および定期コールを実施している。毎朝のバイタルチェック、安否確認、服薬確認の支援を行っている。また、しっかり食事を摂取するため弁当の定期配達を利用しており、夕食についてはスタッフと一緒に食材の確認や準備、段取りの支援を行っている。室内は自立されており、常にきれいに片付けられている状態である。

入浴については、天気の良い日には朝から実施されていたが、退院後は一人での入浴に不安があるため、週2回、日中の見守り支援を行い、安全に入浴出来ている。

洗濯については、天気の良い日には朝から実施されており、タオル等の清潔も保たれている。取り入れなどの声掛けを行なうことはあるが、ほぼ自立されている。掃除についても本人が気になる汚れは自ら行っており、困難な個所や必要時には定期巡回で支援している。雑巾で拭きたいとの本人希望もあり、意向に沿った支援を継続している。

現在は友人も多く、電話や来客もあり、定期巡回の利用により日々の活動も充実している様子である。今後も安心・安全に清潔を保ち、安定した在宅生活が継続できるよう支援を行っていく。

#### 4. 定期巡回サービス記録ソフトについて

当事務所では、定期巡回サービスの記録や情報共有に「ポータル」というシステムの使用を始めました。職員が訪問した際に、スマートフォンからサービス内容や利用者様の様子を入力し、記録を行っています。

入力された内容は事業所内で共有され、職員間で利用者様の状態や支援内容を確認できるようになっています。

そのため、利用者様の状態変化にも早めに気づくことができ、適切な支援につなげることができています。

今後もポータブルを活用しながら、情報共有を行い、より良いサービス提供に努めていきたいと考えています。

#### 5. サービス付き高齢者向け住宅つどいの郷

##### ①入居状況

当施設は1階が17室 2階が24室、合計41室で構成されている。なお、1階および2階にそれぞれ24㎡の2名入居可能な居室が1室ずつあり、最大入居者数は43名である。現在の入居者数は41名であり、入居率は95.4%となっている。

性別内訳は、男性10名 女性31名である。

年齢別では75歳未満の入居者はいない。75歳以上85歳未満が3名、85歳以上が38名となっており、平均年齢は91.1歳である。

要介護度別では、要支援の入居者はいない。要介護1が16名、要介護2が12名、要介護3が5名、要介護4が8名、要介護5は0名である。平均要介護度は2.12となっている。

入居期間別では、6ヶ月未満が3名、6ヶ月以上1年未満は該当なし、1年以上5年未満が25名、5年以上10年未満が8名となっている。

## ② 行事実施報告

今期は各月の誕生日に合わせてお祝い会を開催しました。

11月のお祝い会では、ボランティアの方々に来ていただき、劇やパフォーマンスを披露していただき、入居者様に楽しんでいただきました。

1月のお祝い会では、歌うことが好きな入居者様に合わせて、職員による仮装歌謡祭を実施し、楽しい時間を過ごしていただきました。

また、11月9日は海南市の防災訓練の日に合わせて、施設でも避難訓練を実施しました。テーブルの下に伏せる、頭を抱えて避難する等の訓練を行い、その様子を写真撮影しました。地域の避難訓練にも参加し避難経路の確認を行いました。地域の避難場所である八幡神社への裏山から登る経路であったため、入居者様の避難は困難と判断し、当施設では垂直避難する方針としています。

12月はクリスマス会を開催し、サクソとキーボードによる演奏に合わせて入居者様と一緒に歌やゲームを行い楽しんでいただきました。おやつにはクリスマスケーキを提供しました。

1月1日元旦は、おせち料理を召し上がっていただき、午後からはレクリエーションゲーム等を行い過ごしていただきました。

2月は節分に合わせた節分料理を提供しました。

3月のひな祭りでは、ちらし寿司を提供し、おやつにはお抹茶と桜餅をお出ししました。

大きなイベントの実施は難しい状況ではありますが、施設に応じた行事を計画し、季節感を味わっていただけるよう取り組みました。

## 2. 感染状況報告

1月

インフルエンザ感染

・入居者 3名

・職員 3名

その後、インフルエンザ収束後に新型コロナ感染

・入居者 1名

2月

新型コロナ感染

・入居者 5名

・職員 2名

3月

インフルエンザB型

・職員 1名

新型コロナ感染

・入居者 1名

・職員 1名

発熱が見られた場合は、速やかに居室対応を実施しています。

今回のコロナ感染では発熱がほとんどなく、軽度の症状のみであったため検査を実施したところ陽性と判明したケースもありました。

感染対策は継続して実施していますが、認知症等により病状の理解が難しい入居者様もおられ、居室対応の徹底が困難な場合もありました。

以上で、つどいの郷からの報告を終了します。

質疑応答

- ・ケアマネジャー様より、ポータブルソフトの登録方法を教えてください。と質問がありました。記録方法について、QRコード読み取りによるポータブルソフトへ変更したことにより、職員がまだ操作に慣れておらず入力に時間を要する状況がありますが、職員全体が習得にむけて取り組んでいます。

本日はお忙しいところ、ご出席いただきありがとうございました。